

第3章 現代の民主政治と社会

3節「地方自治と私たち」 ～自分たちの住むまちについて考えよう～

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力, 主体性

1 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領社会〔公民的分野〕の内容(3)私たちと政治の「イ民主政治と政治参加」に位置付けられ、「地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる」ことを主なねらいとしている。

本単元では、自分自身の所属する地方公共団体の政治を例に、住民自治を基本とする地方自治の考え方と実際の運用について考察する。すなわち、地域社会における住民の福祉は住民の自発的努力によって実現するものであり、住民参加による住民自治に基づくものであること、そして、このような住民自治を基本とする地方自治の考え方が、地方公共団体の政治の仕組みやはたらきを貫いている基本的な考え方であることについて、具体的な事例を基に追究していくことに適した単元である。

(2) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校として、以下の資質・能力の育成に重点を置いている。

【知識】	生きて働く知識・技能		
【スキル】	①課題発見・解決力	②創造力	③コミュニケーション能力
【意欲・態度】	④コラボレーション能力	⑤主体性	
【価値観・倫理観】	⑥郷土愛	⑦感性	

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の2点に重点を置くものとする。

【スキル】

① 課題発見・解決力

問題を解決していくにあたって、何が解決できればよいのか、与えられた事象の中から課題を見出す力を身に付ける。また、その課題を解決するために、既習の知識や体験に関連付けて考え、問題を解く力を身に付ける。

【意欲・態度】

⑤ 主体性

困難な課題に対しても、自分から課題に向き合い、積極的に考えようとする態度を身に付ける。また、他者に対しても、わからないところがあれば聞き直すなど、自分から関わり合おうとする態度を身に付ける。

(3) 生徒観

本学級の生徒は、何事にも協力して取り組む雰囲気をもっている。社会科の授業においては、興味・関心が高く、学習課題に対しては意欲をもって取り組むことのできる生徒が多い。地理的分野・歴史的分野の学習を終えて公民的分野の学習をしているが、社会的事象には3つの分野で学んだことが多く関連していることに気が付いてきており、なお一層興味が出てきている。生徒の中には資料の読み取りなどのときに、複数の資料を重ね合わせて考察したりすることができる生徒もいるが、まだ十分ではない。グループなどでの対話活動を通して課題を追究することもできる。

本校では、3年次の総合的な学習の時間には、世羅町の歴史や自然に関わるフィールドワークを行い、8月には、本町内にある3つの中学校の3年生から代表議員を募り、子どもの目線から考えるまちづくりの提案を行う「世羅町子ども議会」にも参加している。また、朝の会では「今日のニュース」の時間として、生徒自身が気になる新聞記事を1つ選び、内容や感想を述べる活動を3年間継続して行っている。ここでも国や地方の政治、地元で取り組まれていることなどの記事を取り上げることが多く、自分たちの住む町について考えることができる生徒が多い。

(4) 指導観

① 教科の力を付けるための視点

本単元は、一地域住民として自分のまちをより住みよいまちにするにはどうすればよいか、という観点から、「自分はこうすべきだと思う」という考え・思いを対話させ、実際に自分が行動を起こし、どう社会と関わるのか、すなわち「社会参画」という要素を意識して指導する必要がある。したがって、自分の住む町に対する「まちづくり」を提案することを単元を貫く課題に設定する。そのために、地方自治に関する基礎的・基本的な知識、まちづくりの視点を習得させる。最終的に、実際に「世羅のまちづくり」について考えさせ提案する。特に、まちづくりを提案するにあたっては、多面的・多角的考察ができるよう、生徒の意見を大切にす指導を行う。

② 資質能力の育成（課題発見・解決力と主体性）

本単元では「知識構成型ジグソー法」の形態を取り入れることで、生徒が学習活動を通して自ら学び、高め合う場面を設定する。生徒が一人では解決することが困難な課題を、小グループで関わり合い、学び合う中で追究できるようにしていきたい。今回の課題の中にも複数の資料を読み取る学習を取り入れているが、こうした活動を苦手とする生徒は多い。しかしながら、エキスパート学習を取り入れることで、生徒が担当する資料の読み取りを行い、そのグループで意見交流することを通して、資料をより深く読み取ることができるようにしたい。

さらに、エキスパート活動で資料から読み取った内容について、ジグソー学習でグループの仲間に説明する機会を設定することで、主体性をもって学習できるようにしたい。それによって、複数の資料を組み合わせた多面的・多角的な読み取る力を付けたい。

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。

(2) 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
○地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを意欲的に追究することを通して、民主的な政治について考えようとしている。	○地方公共団体の政治に関して、市町に着目し、地方自治の意義について多面的・多角的に考察し、それを支える一人の住民として民主的な政治の在り方について様々な考え方や立場から公正に判断している。	○地方公共団体の政治に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、地方自治、特に自分の住む市町村について追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	○地方自治の基本的な考え方、地方自治体の政治のしくみについて、自分の住む市町村の事例をもとに理解し、その知識を身に付けている。

3 指導と評価の計画

(全6時間)

次	学習内容(時数)	評 価					生徒の反応
		関	思	技	知	評価規準	
1	課題の設定 整理・分析 1 私たちの生活と地方自治(1) 地方自治の意義を理解し、地方公共団体の種類や役割について、国を比較しながら理解する。	○			◎	○地域の政治に関心を持ち、自分も住民自治を担う存在であることに気付いている。 ○地方公共団体の仕事や地方分権の考え方について理解している。	 地方自治って自分たちの生活にどう関わっているのかな？  広島県と世羅町で考えてみるといいよね。
2	課題の設定 整理・分析 2 地方自治の仕組み(1) 直接請求権について国民主権や地方自治の観点から考える。条例や二元代表制の仕組みを中心に地方自治の仕組みを理解する。		◎		○	○直接請求権が認められている理由を多面的・多角的に考えている。 ○地方自治の仕組みを理解している。	 国の仕組みと地方自治の仕組みにはどんな違いがあるのかな？

【意欲・態度】
⑤主体性
(行動観察)

3	<p>3 地方財政の仕組みと課題 (1) 地方公共団体が抱える財政上の課題, その解決について考える。財源とその使い道について, 統計資料を基に理解する。</p>	○	◎	<p>○地方財政の課題と今後の在り方について, 多面的・多角的に考え, その過程や結果を適切に表現している。 ○統計資料を的確に読み取っている。</p>	 地方の政治をおこなうためのお金がどうなっているのだろうか?  国から補助金が多いなあ〜  自分たちの町の予算は自分たちがしっかり考えないといけない
4	<p>課題の設定 整理・分析</p> <p>4 住民参加の拡大と私たち (2) 今後, 自分がどのように地域の政治に関わっていくかを考え, 主権者としての意識を持つ。</p> <p>協調学習を取り入れた授業</p> <p>【本時2/2】</p>	◎	○	<p>○自分と地域の政治の関わりについて多面的・多角的に考察している。 ○資料を読み取り, グループ内で考え出し合い, 分析することができる。</p>	 資料に出てきた羽咋市の取組ってすごいな。いきいきしている町だな  【スキル】 ①課題発見・解決力 (ワークシート) 【意欲・態度】 ⑤主体性 (行動観察)  世羅町にいかせることがあるかも。  自分たちの町でもできることあるぞ
5	<p>まとめ・表現 振り返り</p> <p>5 私たちの政治参加 (1) まちづくりに関心を持ち, 調べ, 考えたことを提言としてまとめる。</p>	○	○	<p>○地域の政治や課題について積極的に調べ, 解決策を提案している。</p>	 世羅町にできるプランを考えてみよう

4 本時の学習

(1) 本時の目標

地域の課題やその解決のための方策について, これまでの地方自治に関わる学習をふまえながら, 複数の資料から読み取り説明することができる。

(2) 準備物

ワークシート エキスパート資料A・B・C ホワイトボード

(3) 本時の学習展開

●ねらいーまとめ ■言語活動 ★発声 ▲熟考・表現タイム □ドリル

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
1 前時の学習内容と課題を確認する。(5分)			
<p>○前時までの復習 ○エキスパート活動の内容を確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A : 「まちの活性化の取り組み～若者の移住をめざして～」 B : 「まちの米のブランド化～ローマ法王に米を～」 C : 「活性化の仕掛人～公務員、高橋さんの気持ち～」</p> </div> <p>●本時の目標を確認する。</p>	<p>○前時のエキスパート活動の体制(座席)で始める。 ○各エキスパートの内容を確認する。</p> <p>○前時まで理解が不十分なところは、ジグソー活動で深めさせるようにする。</p>		<p>【意欲・態度】 ⑤主体性 (ワークシート)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><small>みこはら</small> 神子原が限界集落から脱却できた要素を探り、まちづくりに必要なことを考え発表しよう。</p> </div>			
2 考えを共有しながら、深める。(25分)			
<p>【ジグソー活動】 ▲エキスパート活動でわかったことを説明し合い、課題に取り組む。</p> <p>【クロストーク】 ■各班で話し合ったことを全体で発表する。</p>	<p>○理解が不十分であったり、納得できない内容があったりする場合は、それがどのようなことなのかを聞きだし、生徒間の対話の中で考えさせる。</p> <p>○ジグソー活動での様子を把握しておき、不十分な答えにとどまっている班から意図的に指名し、発表させる。</p>	<p>○資料を読み取り、グループ内で考え出し合い、分析することができる。</p> <p>○自分と地域の政治の関わりについて多面的・多角的に考察している。</p>	
3 本時の学習のまとめと振り返りをする。(20分)			
<p>●本時のまとめをする。</p> <p>●学習課題について、本時の学習活動を基に、自分の考えをまとめる。</p> <p>○次時の内容の提示</p>	<p>○生徒が考えたことと羽咋市の取組を整理する中で、住民の社会参画の重要性をおさえる。</p> <p>○学習前に考えたことと、最終にまとめたことの変容を実感させる。</p> <p>○世羅のまちへと関連づけさせる。</p>		<p>【スキル】 ①課題発見・解決力 (ワークシート)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>世羅町のまちづくりについて、考えてみよう。</p> </div>			

